



映画上映会

貪欲の 帝国

第83回 社会運動ユニオニズム研究会
+ Labor Now&Future企画イベント

～労働者のいのちと健康、尊厳のために、
巨大企業に立ち向かう人々～

2007年、韓国・サムスン電子の半導体工場で働いていた一人の女性が白血病を発症し、亡くなった。その遺族が、労災認定を求めて声をあげた。巨大企業の責任を問う遺族や労働者たちの闘いによって、サムソン電子の工場で働き化学物質にさらされた多くの労働者たちが、白血病やリンパ腫、様々ながんを発症していたことが明らかになっていった。

映画『貪欲の帝国』は、このサムスン電子・職業病問題について、韓国の独立映画集団「青い映像」が3年をかけて被害労働者と家族取材し、製作したドキュメンタリーである。

日時：2019年 1月 27日(日)

※開場 13:30 / 上映と解説 14:00～16:30

会場：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント1階 グローバルホール

参加費：無料 ※事前申込み不要

解説：古谷杉郎さん(全国労働安全衛生センター連絡会議 事務局長)

共催：東京労働安全衛生センター / 明治大学労働教育メディア研究センター / 法政大学フェアレイバー研究所 / Labor Now

お問い合わせ：特定非営利活動法人 東京労働安全衛生センター
TEL 03-3683-9765 (担当:天野)

映画「貪欲の帝国」について



韓国のグローバル企業・サムスン半導体工場
で多発するがんや白血病。すでに66名が亡くなっ
ている(2014年時点)。

韓国の独立映画集団「青い映像」は3年かけて
被害労働者と家族を取材し、サムスンの隠された
真実を暴露するこのドキュメンタリーを完成させた。

夫の死を究明するために立ち上がる母親。巨大
資本との厳しい闘い。

韓国では2014年3月に封切りされた。

制作年・国: 2014年・韓国

監督: ホン・リギョン (青い映像)

時間: 92分

サムスン電子・職業病問題 について

2007年3月、韓国・サムスン電子の半導体工場
で働き、白血病を発症したファン・ユミさんが亡
くなった。父親のファン・サンギさんは、娘の
労災認定を求める闘いを始める。

その後、10年にわたる労働者や遺族たちの懸
命の闘いによって、サムソン電子の半導体工場
やLCD工場、化学物質にさらされた多くの労働
者たちが、白血病やリンパ腫、様々ながんや
希少難病を発症していたことが明らかになっ
ていった。現在、亡くなった労働者は80人
以上にのぼり、20人以上が労災として認定
されている。

ファン・サンギさんは、他の遺族や支援者ら
と共に、パノリム(半導体労働者の健康と人権
守備隊)を結成。サムソン電子に対して、問
題解決のために必要な謝罪と補償、そして
再発防止を求めてきた。

しかし、サムスン電子は、第三者委員会
による調停案を拒否。パノリムは、2015年
10月から3年にわたり、サムスン電子の本
社前でのテント籠城を行った。

2018年11月、サムスン電子はついに被
害者への謝罪と補償、再発防止を柱とする最
終調停案を受け入れ、被害者と遺族への公
式謝罪を行った。

会場アクセス

- JR中央線・総武線、東京メ
トロ丸の内線/御茶ノ水駅 下
車徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線/新御
茶ノ水駅 下車徒歩約5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、
東京メトロ半蔵門線/神保町
駅 下車徒歩約5分

